

竹中ゼミ紹介

教員：専門領域「剣道」

担当教員：竹中健太郎 スポーツ・武道実践科学系 教授

ゼミナール所属学生

ゼミナールⅢ（8名）

荒木 京介	岩原 潤哉	太田 章雲
大平 翔斗	川上 晏平	児島 兼聖
尊田 隆希	小西 純二郎	

ゼミナールⅡ（11名）

猪原 太一	大関 泰輝	金田 玲旺
小柳 総司	杉本 烈輝	仲間 大貴
橋口 勁士	前村 幸宗	宮本 凜太郎
安田 祐也	大和 泰雅	



ゼミナールの概要

剣道は、生死を賭けた闘争技術から発祥し、長い歴史の中で我が国の伝統武道の一つとして現代のような形態に発展してきた。近年は大会の隆盛により競技化が加速している傾向にある中、何とか剣道は競技性と文化性が共存し、そのバランスが上手く保たれながら歩み進んでいきます。武道課程を有する本学で剣道を専門的に学ぶ学生は、武道文化としての剣道の理解度を深めるとともに、その実践力を高め、後世に伝承する使命が課せられています。当ゼミナールでは、理論学習と実技実習を両輪とし、日本の伝統的な身体運動文化が競技化された現代の剣道につて、「競技力の向上」あるいは「効果的な指導法」を剣道の歴史、剣道形、審判法、指導法を通じて実践的な検討・研究を行っています。

主な活動内容

日本剣道形の実習・演習
剣道の実技（稽古）
武道原著の購読とその討論
現代剣道の様々なトピックについての討論
武道学研究資料の情報収集と抄読
競技力、指導力向上のための技術研究と討論

